


活動名		ホットドッグ			
概要	○パンに具材をはさんだら、アルミホイルで包み、牛乳パックに入れて焼く。				
ねらい	○自分の力で炊飯することの苦労や達成感を味わう。 ○野外炊飯の基本的な知識を身につける。				
関連教科等	家庭・理科・総合				
指導形態	「自主活動で実施」「職員は活動の説明のみ行う」「職員が指導を行う」				
時期	通年	時間帯	朝	対象	幼(大)～
場所	第1炊飯場 第2炊飯場	人数	何人でも	所要時間	1.5～2時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	食材一式、炊飯用具一式、アルミホイル、マッチ、新聞紙、運搬用リヤカー等			牛乳パック(1L)、軍手	
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、活動の進め方 ・食材の運搬について			○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片づけ方を確認する。	
活動の説明	○食材の搬入、及び用具の数を確認する。 ○作業手順を確認する。 ○班ごとに場所を決め、活動を開始する。			○食材を運ぶ人数は各班1～2人。 ○用具の使い方や作り方等を説明する。 ○各団体で、説明の間に食材を分配する。 (パン1人1個、ウインナー1人2本、チーズ1人1枚、レタス、バナナ1人1/2本) ※ウインナーはボイル済み。	
展開	○パンに切り目を入れる。 ○パンに具材をはさみ、アルミホイルで包む。 ○包んだパンを牛乳パックに入れ、火をつける。 ○やかんで湯を沸かし、スープを作る。 ○片づけ ・食器を洗剤で洗う。 ・鍋を砂で磨き水洗いする。 ・かまどを片づける。 ・食器、用具を片づける。 ・炊飯場を掃除する。 ・食堂の用具は食堂に返納する。			○包丁の管理。(必ず指導者がつく) ○アルミホイルの端をねじってふさいでおく。 ○やけどに注意。(軍手の着用) ○鍋は、中身がないことを確認して砂で磨く。 ○用具一式は、数を確認し返納する。	
まとめ	○活動を振り返りながら、楽しく食事をする。 ○難しかったところ、工夫したところ、感想などを発表する。 ○野外炊飯活動の楽しさと、マナーの大切さについてふれておきたい。				
評価	○一人で炊飯することの達成感を味わうことができたか。 ○野外炊飯の基本的な知識を身につけることができたか。 ○注意事項等を、しっかり聞いて守ることができたか。				
発展	○防災教育の一環として、災害発生時の炊飯の仕方についての学習としてもよい。				

ホットドッグ（1人分）

<材料>

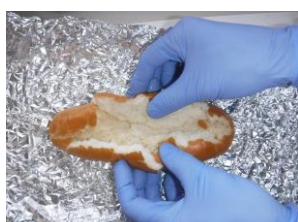
ロールパン1個 ウインナー2本 レタス適量
とろけるチーズ1枚 コーンスープ（顆粒）1個
デザート：バナナ1／2本 茶葉

<準備する物>

平皿1枚 湯飲み2個 アルミホイル マッ
チ 牛乳パック（1L用） 包丁（バナナ切り
用） 軍手 電気ポット

【作り方】

ホットドッグづくり



①手でパンに切れ目を入れる。



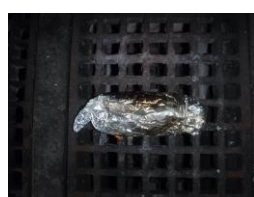
②中に具材（レタス・チーズ
ウインナー）を挟み込む。



③中身が出ないようにアルミ
ホイルで包む。両端はねじる。



④牛乳パックの中に入れて、かまど
の上に置く。パックの口に火をつけ
て燃やす。（立てても、ねかせても
いい）



⑤牛乳パックが燃え尽き
たらできあがり。熱いの
で軍手を着けて運ぶ。



⑥アルミホイルを開いて、
好みにケチャップをつけ
ていただく。

※お茶とお湯でとかしたコーンスープも一緒にいただきます。バナナもあります。